

政治学委員会 現代政治過程における課題分析・制度設計分科会（第26期・第2回）
議事録

出席者：

井田正道・石上泰州・内山融・河野武司・小林良彰・谷口尚子・堤英敬・西川伸一

1. 会議名 政治学委員会 現代政治過程における課題分析・制度設計分科会（第26期・第2回）

2. 日時 令和8年3月25日（水）14：00～15：00

3. 会場 オンライン会議

4. 議題

（1）日本学術会議の新体制と会員・連携会員のあり方について

・日本学術会議の新体制と会員・連携会員のあり方について、資料に基づき情報共有と意見交換を行った。

（2）2026年度の活動について

- ・自治体や学校現場等と協働しながら主権者教育を継続実施する。
- ・公開シンポジウムを実施する。
- ・シンポジウム案1 近年の日本の選挙（例：2024年以降の地方／国政選挙）を対象に、選挙環境、すなわち SNS 等の情報環境、制度・選挙事務等に影響される投票環境、政党の離合集散や解散を巡る政治環境等に関する課題について議論し、今後の改善の方向性を提起する。

主催：日本学術会議 政治学委員会 現代政治過程における課題分析・制度設計分科会

開催時期：令和8年（2026年）7-8月

形式：オンライン開催、日本語開催

参加：参加費無料、一般参加可

- ・シンポジウム案2：国際カンファレンスと連動しながら、近年の民主主義の課題や技術革新の影響等に関する研究発表と意見交換を行う。

主催：日本学術会議 政治学委員会 現代政治過程における課題分析・制度設計分科会

開催時期：令和8年（2026年）7-8月

形式：オンライン開催、英語開催

参加：参加費無料、一般参加可

(3) その他

- ・公開シンポジウム後に分科会を開催する。

以上